

2022 vol.67 6月定例会

つわの議会だより



新たな議員構成になりました。令和4年5月1日改選。



議長就任にあたって

津和野町議会
議長 草田吉丸

風薫る城下町、若鮎のぼる高津川、清々しい季節を迎えました。津和野町議会議員選挙は前回の無投票から、今回は選挙となりました。

結果として3人の新人議員を迎え、臨時議会において新たな議会構成が決まり議長に就任いたしました。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常生活や社会経済活動に多大な影響を及ぼしています。

今後は感染症対策と併せ、コロナ禍の転換期を見据え、経済社会活動の再興に向けた取り組みを推進し、コロナ禍後のまちづくりを進めていかなければなりません。

人口減少の進む中、集落の維持活性化など課題は山積していますが、高齢者の方が安心して住める町、若い人たちが自由な発想のもと、のびのびと活躍できる町を目指して頑張っています。

行政・議会の二元代表制の下、議会の役割は行政の監視機能はもちろん、町民の皆様の多様な御意見をお聞きし、住民福祉の向上と町政発展のために、行政に反映できるよう努めることであると考えます。

住民の皆様身近で開かれた議会を目指すとともに、議会の活性化に努めご期待に応えられるように、誠心誠意努力して参る所存であります。

町民の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

議会広報広聴常任委員会

委員長 米澤 宕文

6月28日、日本気象観測史上、最速の梅雨あけでした。災害は必ずやつてきます。避難指示発令で迷わず避難しましょう。

この度、下記の広報広聴常任委員会6人が「つわの議会だより」の編集を担当することとなりました。

新しい若い議員3人が加わり、積極的な編集意見などが出ています。

今後の活躍に期待しましょう。読み易く親しみやすい「議会だより」を目指します。

委員会では町民皆様の声を聴く「広聴会」も計画していますが、新型コロナウイルスの状況次第で昨年同様中止となることもありえます。

新型コロナウイルスの1日も早い終息を祈るばかりです。

議長 草田 吉丸
副議長 川田 剛
監査委員 岡田 克也

議会運営委員会

委員長 三浦 英治
副委員長 御手洗 剛
委員 米澤 宕文
委員 道信 俊昭
委員 寺戸 昌子

総務経済常任委員会

委員長 道信 俊昭
副委員長 横山 元志
委員 沖田 守
委員 草田 吉丸
委員 寺戸 昌子
委員 田中海太郎

文教民生常任委員会

委員長 御手洗 剛
副委員長 大江 梨
委員 米澤 宕文
委員 岡田 克也
委員 三浦 英治
委員 川田 剛

広報広聴常任委員会

委員長 米澤 宕文
副委員長 寺戸 昌子
委員 川田 剛
委員 横山 元志
委員 田中海太郎
委員 大江 梨

～国道9号線 旧ホテル解体後整備 見晴らし広場整備へ～

令和4年度 津和野町一般会計補正予算 (第1号) (千円以下切捨)

歳入歳出それぞれ、550万円追加し、総額7億9935万円とするもの

主な事業

・町有建物解体に係る工事請負費増額分 548万円

主な財源

・財政調整基金繰入金 550万円

令和4年度 津和野町一般会計補正予算 (第2号) (千円以下切捨)

歳入歳出それぞれ、2億4242万円追加し、総額 82 億 3592 万円とするもの

主な事業

・老朽空き家除去支援事業補助金 240万円

・定住対策費 960万円

・飼料用米収穫機械と自動式ラップマシン等購入補助金 1231万円

・小中学校網戸設置 1000万円

・低所得子育て世帯生活支援特別給付金 700万円

・日原診療所駐輪場・バス待合所設置 125万円

・4回目ワクチン接種委託料 676万円

・認定農業者機械等整備事業補助金 236万円

・県宮林道整備事業耕田内美線負担金 500万円

・津和野駅観光案内業務委託料 725万円

・津和野駅舎清掃等の維持管理委託料 127万円

・国道9号線見晴らし広場整備工事費 4980万円

・民間賃貸住宅建設支援事業補助金 365万円

・日小体育館太陽光パネルと津小火災報知器修繕 302万円

・津小 高木伐採業務委託料 181万円

・津中体育館シロアリ防除防腐修繕 209万円

・文化財建造物監理技術協力業務委託料 277万円

・城下町公園の整備費用 4179万円

・旧堀氏庭園の修繕料 123万円

主な財源

・特別交付税 2500万円

・国庫負担金 958万円

・国庫補助金 2320万円

・県補助金 1795万円

・財政調整基金繰入金 3800万円

・過疎対策事業債 5500万円

・一般単独事業債 4400万円

改選後、初の議会となる令和4年第4回臨時会が、令和4年5月9日に招集されました。正副議長選挙をはじめ、所属委員会等議会構成を決める選挙等を行った後、一般会計補正予算をはじめとする、4つの議案を審議し、可決、承認しました。

令和4年第5回定例会は、6月10日に招集され6月15日まで開催し、一般会計補正予算を含む議案を審議しました。

提案されたすべての議案を可決しました。(P15賛否表参照)



寺戸 昌子 議員

Q 学校給食の無償化が必要

A 食材への関心や感謝の気持ちの薄れを危惧するので考えていない

問 学校給食は成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、児童生徒の食に対する正しい理解と適切な判断力を養う上でも重要な教育の役割を果たす。

津和野町の学校給食は、食事内容が豊かであり、物価上昇の影響を抑えるための補助も行われ充実してきている。

しかし、学校給食費の保護者負担がまだ残っている。

2008（平成20）年6月、学校給食法が大幅に改定された。

食育の観点を踏まえ、学校給食の教育的効果を引き出し、学校給食を通じて学校における食育を推進するという趣旨が明確になった。

そのような経緯からも学校給食は、児童生徒の食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材と考えるか。

教育長 食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材であると考えている。

問 国民の権利と自由を守る憲法第26条において、義務教育は無償とされている。

義務教育における授業料や教科書は無償になっている。

学校給食は、義務教育である学校教育活動の一環として実施されているにもかかわらず有償となっている。

給食費の保護者負担、無償化が必要ではないか。

教育長 無償にすることで生産者の作られた食材への関心や感謝の気持ちの薄れを危惧する。

生産者の皆さんの思いに触れ、苦労を知ること、食への関心を持つことも食育においては大切である。

問 無償化は考えていない。

吉賀町では無償化されているが、津和野町では財政的に可能か。

町長 21（令和3）年度の保護者負担が約2000万円になっており、財政的には厳しい。

同じ郡内であり差が出るのとはという思いはあるが、互いの特色の中で予算の使い道があると考えている。

問 世界的な諸状況や円安により物価の上昇が激しく、給食食材も高騰している。給食に影響はないか。

教育長 現時点では影響はない。

い。

問 絶対に給食費が値上げにならぬよう対応を。

教育長 コロナ対応の交付金申請を行い保護者負担増にならぬよう検討していきたい。

問 新しい給食センターでも今まで同様、規格外の地元野菜も使用可能か。

教育長 使えるようにしていきたい。

問 近年の地元野菜の使用量の傾向は。

教育長 近年の地元野菜の使用量の傾向は。

Q 町内にPCR等検査の無料実施場所を置けないか

A 働きかけていきたい

問 新型コロナウイルス感染症は感染者数が減少傾向に向かっているが、いまだに収束の目途はたっていない。

町内では、迅速なワクチン接種の対応が行われ、安心する町民の声を多く聞いた。

しかし、検査体制は不十分であり、感染症拡大を防ぐためには感染者の特定が不可欠である。

県ではPCR等検査無料化が行われているが、町内で検査を受けることはできず、益

教育長 現在、主に地場野菜を使っている。

町内産が全体の41%を占めているものの、生産者が減っているため取扱量は、やや減少傾向。

問 生産者増のために農林課と連携をとっているか。

教育長 生産者増となるよう農林課と協議していきたい。

町長 新規就農者は、給食と連携がとれていないが、教育委員会と協議しながら詰めていきたい。

田市まで行かなくてはならない。

事業者には依頼して津和野町にPCR等検査の無料実施場所を置くことはできないか。

町長 県のPCR等検査無料化事業に対応可能な町内事業者がおられた場合は、実施して頂けるよう働きかけていく。





み たらい つよし
御手洗 剛 議員

Q 新たな担い手づくりに向けた対応は

A 長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、地方への移住に注目度が高まっており、意欲的な施策を講じていく

問 農業担い手支援センターによる担い手づくりの状況は。

町長 多様な担い手の育成・活用を推進するため、Uターンでの農業研修生の確保をはじめ、集落宮農の法人化支援、高齢層の農業従事者への支援等を主要施策に取り入れ活動している。

特に新規就農者の確保においては、「新・農業人フェア」への参加を3回、8月に島根県が主催する就農相談ツアーへの参加を予定している。

問 特定地域づくり事業協同組合における担い手づくりは。

町長 組合の設立趣意書にこの事業を活用し、組合員の担い手不足を解消する。

職員が安定的に様々な農林業者の下で業務をすることで実現できる。

①農林業技術の取得や向上
②半農半Xのモデル化を促進すること、育



JA 津和野裏 特定地域づくり事業協同組合看板

成された人材を地域社会の維持及び地域経済の活性化に資することを目的とする。」としている。

今後とも担い手の確保という観点から派遣職員の確保に向けて取組んでいく。

問 新規就農者の現状と支援策は。

町長 2012（平成24）年以降、津和野町に移住し就農した方は30人ほどおられるが、そのほとんどが今でも津和野町にとどまり、農業に携わっており。

21（令和3）年に新たに就農された方は無く現在、町内各地で農業研修中の方が6人、今年度中に就農予定の方

は4人ほどおられ、それぞれ地域の担い手として活躍されることを期待している。

就農後の支援策としては、認定新規就農者を目指す方にあつては、国の経営開始資金・経営発展支援事業を活用して、就農後の経営が不安定な期間を資金面で支援し、

Q 町道の維持管理のための予算拡充への見解は

A 当初想定している以上の予算が必要となれば、補正予算を要求させていただき実施したい

問 町道「鉄砲丁耕田線」の状況把握と対応は。

町長 この路線については、通勤・通学のための交通量も多く、路線バスも通行することから重要な路線の一つである。

初期投資に係る施設機械の導入に助成金を充てること、早期に経営を安定化させることを目指している。

技術面においては、県の農業普及員とともに、定期的に作物の育成状況や栽培技術を確認し、必要があれば栽培に

関し指導を行っている。

当該路線の外側線については、経年劣化と舗装修繕の実施により部分的に見えづらいうち、未実施区間などがあり、歩行者の安全確保の観点から、施行を検討したい。



対策が急がれる町道鉄砲丁耕田線



今が見頃の紫陽花



おかだ かつや
岡田 克也 議員

Q 誤振込や二重払い防止対策は

A 複数チェック等で防止対策をしている

問

山口県阿武町や福島県天栄村、大阪府寝屋川市や摂津市などで多額の誤振込や二重払いが行われて、大変な混乱が生じている。

津和野町における誤振込や二重払い防止対策など、チェック体制は。

町長 支出命令は30万円以

Q 橋井堂の職員の現状と増員対策は

A 医療従事者の人員不足は深刻な課題となっている

問 津和野共存病院が24時間診療できる救急医療体制の構築と津和野町の医療を維持するためには、医師・看護師などの医療従事者の増員が必要である。

処遇改善の効果は出ているのか。

町長 医師は令和4年3月末で2人の医師が退職され、同4月より自治医科大学・地域枠推薦医師の2人が着任されて8人の医師体制となっている。

看護師12人、介護福祉士7人等が不足している。

Q 日原診療所が機能充実した現状とバス待合所設置を尋ねる

A 外来患者が増加。対応を行う

問 日原診療所にレントゲン撮影装置や血液

検査機器が配備されて「レントゲンで疾病を発見していた

下が課長、50万円以下が総務財政課長、1千万円以下が副町長、1千万円超が町長であり、会計管理者及び職員で審査している。

当町では職員が振込依頼書を金融機関に持っていくことなく、複数のチェックを行い、対策を講じている。

処遇改善効果もすぐには難しく、定年退職した職員などが契約社員として業務を担い、病院機能等を維持している。

学校を訪問して、修学資金貸与事業や医療従事者住宅の整備などの取組みをPRして増員を目指したい。

問 同じ仕事を担っている契約社員にも少しでも一時金支給をすべきでは。

町長 契約社員も処遇改善は行った。

一時金も業績を見ながら支給の検討をしたい。

だいた」等の声を聞く。

レントゲン撮影装置の設置で肺がん検診も可能ではないか。

町長 レントゲン撮影装置を配備したことで移動負担軽減となり、1日平均外来患者数

も32人となっている。

今後、医師等の増員があれば一診体制も検討している。

バス待合所・自転車置場は早急に整備したい。

Q わさび、タラの芽等の山菜の担い手育成、販路拡大対策は

A わさび苗の生産や飲食店への直接取引で所得向上を目指す

問 2021（令和3）年度の島根県産地創生事業に津和野町のわさび、タラの芽、こごみの山菜が採択された。

わさび、山菜の担い手育成、生産、販路拡大の構想は。

町長 生産量の増加の取り組みや飲食店等への直接取引の比重を上げて所得向上を図る。

経費削減と品質向上のため、わさび苗を地元で生産するために、左燈の高地やエアコン管理、低水面栽培等を検討している。

問 杉の里・ケビンも使用しなければダメ

になるのでは、活用すべきでは。
町長 杉の里・ケビンは浄化槽を整備して地元と協議して活用したい。

Q 感染対策を講じてイベントを再開すべきでは

A 花火大会等、実施に向けて協議中

問 観光もコロナ禍の中でダメージを受けたが、観光客も徐々に戻って来ている。今年も鮎も多い。流鏝馬同様にイベントも再開すべきは。

町長 花火大会や高津川を活用したイベントなどの実施について協議している。



杉の里ケビン



たなか うみたろう
田中 海太郎 議員

Q まちづくりに対して町民の理解度は

A 様々な方法で進めており、今後も広く周知していく

問 町の将来を考える
指針として、総合振
興計画や食と農のまちづくり
条例を制定している。

これらは広く町民に周知・
浸透しているか、また町民か
らどのような反応があったか。

町長 総合計画は町づくりの
基本理念と町の将来像を示す
計画なので、ダイジェスト版
を各戸配布している。

また食と農のまちづくり条
例に関しては、現在意見の集
約に努めているが、関係する
分野への周知・浸透にとどま
っている。

各種施策に関する広報は、
嘱託文書やホームページ等で
周知していきたい。

問 他の市町村では、
タウンミーティングや
意見交換会を実施している
が、津和野町として取組む予
定はあるのか。

町長 タウンミーティングや
定期的な意見交換会は行って
ないが、自治会長・嘱託員会
議は毎年開催している。

また現在は新型コロナウイルス
又感染症対策で座談会を行
なっていないが、要望があれば、
自治会で町政座談会や出
前講座等を行っていききたい。



↑各戸に配布されている
「津和野町総合振興計画」
(概要版)

Q みどりの食料システム戦略の必要性は

A 幅広く町民の意見を聞きながら推進する

問 現在津和野町に
は、野菜や花き、特
産物を栽培する個人農家
と、集落の農地を守る集落
営農法人がある。昨年農水
省は「みどりの食料システ
ム戦略」を策定したが、町
長の考えは。

町長 当町としても、国の基
本方針が公表され次第、島
根県と連携し、基本計画を作

問 「食と農のまちづ
くり条例」や「総合
振興計画」にも有機や環境
農業への取組推進が記載し
てある。

最近の農業体験生も有機
志向が増えてきたので、是
非「みどり戦略」を使って、
有機・環境農業にも力を入
れて欲しいがどうか。

町長 町民の皆さんのご理解
とご助力が必要なので、丁寧
な話し合いをしながら事業推
進していく。

問 計画や条例を策定
する上で、その審議
委員はいつも町が選任して
いる。

課長 今回の振興計画では、
今までは違っていて、町民に幅
広く、様々な方に声をかけた。
次の計画からは公募も参考
にしていきたい。

Q 定住促進の課題は

A 二つの施策を確実に遂行していく

問 津和野町の施策の
柱の一つは定住促進
であるが、現在町が取り組
むべきことは何か、また重
要な課題は。

町長 定住施策は、住環境の
整備と就業との町で生活す
ることによる意義を伝えるこ
とが重要。

問 定住促進の入口部
分は大変充実してい
るが、定住後のアフターケ
アが不十分ではないか。

町長 定住相談員が対応して
いる。

今後は女性会議も受け皿と
して活動される予定。

問 以前町長は課を横
断したプロジェクト
チームを作られたが、現在
どうなっているか、またどの
ような成果が得られたか。

その上で、
教育の魅力
化を図って
いきたい。

思いのある人は多くいる
ので、公募してみてもどう
か。

課長 今回の振興計画では、
今までは違っていて、町民に幅
広く、様々な方に声をかけた。
次の計画からは公募も参考
にしていきたい。

問 今後定住促進のた
めに、どのような事を
やっていくの
か、町長の
考えは。

町長 一つ
一つの施策
を確実に遂
行していく
こと以外に
ないと思
う。

その上で、
教育の魅力
化を図って
いきたい。

その上で、
教育の魅力
化を図って
いきたい。

2050年までの主な取り組み

- 農林水産業の二酸化炭素排出量を実質ゼロ化
- 化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減
- 化学肥料の使用量を30%低減
- 有機農業の面積を耕地全体の25%へ拡大
- 養殖魚の飼料を全量配合飼料に転換
- 成長性に優れた苗木を9割以上に



↑木部の農村風景

↑みどりの食料戦略であげられている主な取り組み



よねざわ ひろふみ 米澤 宏文 議員

Q JR 山口線野広踏切道の拡幅は

A 不本意ながら困難

問

2003(平成15)年頃に拡幅された町道野広線上のJR山口線野広踏切道は町道5.5mに対し、踏切道2.4mと極端に狭い。

拡幅された町道をつなぐ踏切道の拡幅で町道拡幅の目的を果たすべきではないか。



野広踏切 町道5.5m 踏切道2.4m

問

鷺原川丁地区に津和野高等学校女子寮「つわぶき交流センター」8室定員16人の改築工事が進んでいる。

以前、旧ペンション津和野の所有者から津和野町に無償譲渡の話があり、津和野高等学校寮の検討もされたが、道幅が狭いため寮に不適との結論になったと聞いている。



緊急自動車通行困難か所あり

地元の方は寮ができること

住民に期待を持たせた町道拡幅工事で危険箇所放置は行政としては不本意ではないか。

冬季の積雪時や凍結時は坂道であり特に危険。

上側の遮断機と信号機を移設で5mの踏切道が実現する。踏切道の拡幅計画はあるか。

町長 町道拡幅計画時、西日本旅客鉄道(株)と協議の結果、近隣の踏切道統廃合・跨線橋などの立体交差条件が提示で、今後も実現は不本意ながら困難と考える。

は拡幅すると思われる。町道川丁線の拡幅計画は。

町長 建築基準法に基づく申請で許可を得た。基準法では緊急自動車の通行及び防災安全上の観点から、建物は原則として敷地が幅員4m以上の道路に接していることが条件。

川丁線は幅員4m未満だが県建基法施行条例で敷地内に「避難空地」を設けることで認定された。

路線沿いに多くの住宅が存在し全面改良は厳しい状況だが、側溝ふた設置などの対策での利便性向上の対策を検討する。

Q 萩・津和野線沿線バス空白地区は

A 津和野中学校部活動を配慮

問

石見交通バスはなごみの里を出発し「清水バス停留所」から右折し「新橋停留所」を経て町道森野坂線を経由しJR津和野駅方面に向かう。



元杉片河バス停 ポロポロの状態 解体または再利用するべき

過去、石見交通バスは清水バス停から主要地方道萩・津和野線の杉片河、津和野高校バス停を

經由し森バス停経由でJR津和野駅へ運航されていた。現在、清水バス停1森バス停間の萩・津和野線1.2kmは石見交通バス、町営バスともに1便も通過しないバス空白地区となった経過は。

町長 清水バス停から中学校までは遠く、部活動の早朝練習に間に合わない。近い場所への停留所設置の要望あり。

問

2020(令和2)年9月、森村代官丁の眼科医院が閉院となった。

閉院から2年経過し新たに眼科医院受診、通院が必要の方がおられ、これからも毎年、おられることは推測できる。

高齢化社会で車を持たない方は受診、通院の交通機関利用が分からない、また困難な方は途方に暮れておられる。

眼科医師の津和野共存病院

Q 眼科医受診、通院の説明が必要では

A 圏域内医療機関一覧を広報掲載を検討

派遣希望の方もおられる、医師確保状況説明も必要。

「広報つわの」などで1年に1回程度受診、通院方法を掲載するべきではないか。

町長 共存病院内に非常勤科は、スペース問題、機器導入の財政的余裕、看護師・技師確保の目途が立たない。眼科医の招聘は厳しい。広報への掲載は検討する。



おおえ れい
大江 梨 議員

Q 今後の地域おこし協力隊の募集は

A 町としてのメッセージを明確にし、募集を行い、定住につなげたい

問 地域おこし協力隊制度が創設され10年が経過し、成果や活用方法について自治体間の差が出始めているように感じる。

津和野町では2012（平成24）年から受け入れが始まっているが、これまでの受け入れの狙いは。

町長 津和野町は全国に先駆けて地域おこし協力隊制度を活用してきた。3年間の任期満了後は定住をし、津和野町の担い手として活躍されることを狙いとして導入してきた。

問 10年間でどの程度、狙いが達成されているか。

町長 これまで津和野町で任用した71人の隊員の内、約半数は定住。

特に、林業に携わる隊員の定着率が高い傾向。

また、定住に至らなくとも、関係人口として津和野町に関わり続けていただく場合もあり、定住者の数のみによる成果の判断は難しい。

問 今後の津和野町の戦略の中に地域おこし協力隊はどのように位置づけられるのか。

町長 地域おこし協力隊制度は都市部から地方への流れを作るために、当町にとっては大変有効な制度であると認識している。

今後も関係各課において協力隊員の必要性を十分に検討し、人材を確保していきたい。

問 総務省は全国で地域おこし協力隊を24（令和6）年度に8000人に増やすと発表しており、現在でも多くの求人があり、売り手市場である。

津和野町が協力隊希望者から選ばれる自治体にならないければ採用は難しいのではないかと。

町長 応募される方を意識し、津和野町としてのまちづくりのあり方をしっかり伝えていきたい。

例えば、「財団法人つわの学びみらい」では、地域おこし協力隊制度を活用し、大学生を含め教育に興味がある様々な方に来ていただいているが、「教育の町」というメッセージに共感し魅力を感じてもらっている事がわかる。

問 地域おこし協力隊制度や隊員についての町民への情報提供は。

町長 町民を対象に複数回実施の実績がある。

直近では教育関係の隊員を主とした報告会を実施した。

定期的な開催に至っていないので、今後、積極的にそのような機会を作っていきたい。

問 協力隊の受け入れ期間における課題は何か。

町長 町として各隊員のミッションを

明確化することが重要だとこれまでの受け入れを通じて感じている。

その上で、自身の目標や課題感を持っている方を採用し、活動しやすい環境をつくっていききたい。

問 地域おこし協力隊の着任時の研修や研修中の研修の導入の予定は。

町長 当面、独自研修の予定はない。しかし、仲間づくりの機会も必要。



↑大江自身も地域おこし協力隊（教育魅力化コーディネーター）として他町で3年間活動した。

（その他の質問）
※食と農の町づくりについて

け込み活動するためには、コミュニケーション能力をどのように磨いていくかということも重要だと感じている。
どのような研修がいか役場内で検討したい。





三浦 英治 議員

Q 津和野町観光の現状は

A 恵まれている資源を活用し成果を出したい

問

基本戦略の中で、2015（平成27）年に「津和野百景図」に基づいたストーリーが、日本遺産に認定されたが、21年に認定取り消しの騒ぎがあり再審査の結果、認定が継続された。日本遺産センターの来館率は、観光入込数全体の1%強と低迷しているが。

町長 日本遺産活用推進協議会が、昨年8月に設立され各部会を中心に、町の各部署や商工会、観光協会等が支援、協力する形で取り組みの詳細と設定目標達成に向けた動きを進めている。

問

百景図には、近隣の益田市と吉賀町も含まれているが、連携要請はしているのか。

町長 コロナ禍の影響もあり、多くはリモート参加によるバーチャルツアーなど、益田市と連携した事例はあるが、本格的な稼働には至っていない。日本遺産には、益田圏域を包括した、石見神楽もあることから、2つの日本遺産を通じて、益田圏域内連携の取り組みを一層強化する。

問

国道9号線沿いの見晴らし広場の整備は。

町長 老朽化し、景観阻害要素となっている建物の解体・撤去と跡地を見晴らし広場として整備を行う。

歴史的街並みを俯瞰・眺望する場所を確保し、歴史的風致の維持と向上を図る。

今年度、見晴らし広場の整備工事を実施し、早期の完成を目指す。

問

JR津和野駅改修の現状と完成時期は。

町長 本年8月5日に津和野駅開業100周年を迎える。それまでの完成を目指す。

問

津和野藩主亀井家墓所災害復旧事業が、23年3月末に繰越されたが、工事道の確保と河川工事の延長は。

教育長 21（令和3）年8月の大雨によって法面が大規模に崩落したため、復旧事業に着手した。

現在、測量調査設計業務を実施中である。

乙女峠から続く河川の被災箇所は延長は約30m。

文化庁等と協議しながら設計内容の検討を進める。

問

日本最古となる25億年前の岩が、津和野町で発見されて3年になるが、その後の活用状況は。

教育長

報道発表された19（令和元）年、広島大学の研究者による講演会と現地見学会を実施し、津和野町郷土館において岩石の展示を始めるなど、公開を進めてきた。

問

3年前に、津和野キリスト殉教者が、カトリックで崇敬対象とされる「福者」の認定を目指し、本格的な調査が始まった。

1873（明治6）年にキリスト殉教者が、カトリックで崇敬対象とされる「福者」の認定を目指し、本格的な調査が始まった。

Q 日原市街地は

A 景観上を考慮し検討する

問

旧第2庁舎の改修計画の現状は。

町長 資材等の高騰で当初の想定よりも大幅な増額が見込まれ、規模を縮小し改修した資料作成を行い、精査し最終的に改修か、新築の方針を決定したい。

問

法師橋と口屋橋の改修計画はないのか。

町長 法師橋は2019（平成31）年度に点検を実施。歩道部橋脚に支障をきたす可能性がある箇所が確認され

リスト教に対する禁教政策が撤廃されて150年になる、2023（令和5）年までの認定を目指しているが。

町長 ローマ教皇庁列聖省に提出する書類の内、歴史部門の文書と声望証言の文書の翻訳作業をされている。

列聖省の処理能力は年に20件から30件前後と極めて限られている。

認定までの道のりは非常に厳しい状況にも見えるが、地域の声望、支援や協力体制の拡大により優先順位が高くなる可能性もあるとのこと。

ため、修繕を計画している。口屋橋は、19年度の点検、橋本体機能の健全度が一定の水準以上を確認。

橋の高経年化により高欄の塗装の劣化など本体機能に重大な影響がない部分の修繕は、補助対象外もあるが、景観上も考慮して有利な財源確保に努め、修繕を検討していく。

問

縫製工場（旧映画館）の跡地利用は。

町長 当面、防災空地の予定。



よこやま もとし
横山 元志 議員

Q 観光振興計画の具体策は

A 津和野町日本遺産活用推進協議会を設立している

問 観光振興計画が策定され民間事業者や町民の皆さんの参加が重要と考えるが推進体制の具体策は。

町長 観光資源の活用においては活用する資源により関係する団体が異なるため、推進体制は都度変化するものと考ええる。

問 津和野城跡の整備事業について整備された遊歩道・あずまや・トイレなどを実際に見てどう感じたか。

町長 非常に素晴らしいものが完成したと喜んでいる。

問 石垣の修復工事の現状と今後の維持管理の具体的な計画は。

町長 具体的な計画は立ててはいない、長期にわたる修理が必要。

問 城山を中心とした他の観光資源とのリンクとビューポイント（城山が見える・城山から見える）開発は。

町長 地方創生交付金を活用した見晴らし広場の整備事業が進んでいる。

問 津和野体験Younaのサイクリング

ツアーの締めくくりになっている原風景ともいえる農道であるが、県道が通る計画があると聞く、サイクリングツアーの代替えルートの検討を早急に検討されたい。

町長 Youna推進協議会と早急に検討したい。



↑高田の田園風景

問 見晴らし広場の整備するのは、やぶさかではないが、補正予算に約5000万円も差し込むのはいかがなものか。

町長 スケジュール的にも当初予算に計上することが困難で、6月定例会最終日の補正予算で審議されたい。

問 日本遺産を活用した商品開発やサービス、そしてその他地域への

発信内容と方法は。

町長 官民一体となって進めていかなければならない。電動自転車を活用した有料ガイド付き体験型観光で日本遺産を巡りながら、歴史や町の成り立ちなど字ぶツアーなどがある。

多言語に対応した会計年度職員の雇用とホームページの多言語化やソーシャルネットワークサービス（SNS）の選定、さらに東京事務所における営業活動などを行っている。

問 町有施設について以前より地元住民の皆さんからも度々要望のある伝統文化館・日原中学校むつみ寮・清掃センターの焼却炉の今後の具体的計画は。

解体に多額の費用がかかるからと未来へ先送りするのなら現在の子どもたちに「大人になったら片付けよう」と言ってるようなものではないか。計画はないではないか。

町長 伝統文化館に



↑日原中学校の寮（むつみ寮）

については、つわの太鼓の練習場所として貸し出しているほか町関連保管場所として使用している、当面は現状のまま具体的な計画はない。むつみ寮については、合併前から使用しておらず立入禁止の状態、既に活用できない。跡地の利用の予定もないので具体的な計画はない。清掃センターの焼却炉についても具体的な計画はないが、町の財政状況を踏まえながら公共施設の最適化を進めたい。



かわだ つよし 川田 剛 議員

Q 子どもの変化への気付きは

A 体制は整っている。まずは連絡を

問 障がいを持たれて
いる子の「住まい」の
確保は。

町長 必要性を認識してお
り、実現に向けて自立支援協
議会としても視察は行ってい
るが、まだ整備計画はない。

自立生活支援施設やいわゆる
グループホームなどの整備
について、社会福祉法人つわ
の清流会の理事長とも具体的
な協議をしている。

実際見通しは立っているが、
人材が不足していることを心
配している。

今後、事業実施に向けて、
早い段階で具体的に協議をし
ていきたい。

問 町内の要保護・準
要保護児童生徒は。

教育長 経済的な理由により
就学が困難な児童生徒の数は、

Q 放課後児童クラブの時間延長を

A 何とか実現したい

問 子どもの居場所、
そして養育に困ってい
る保護者の相談の場、居場所
も必要である。

「フリースペースさぶみ」を
毎日開所できないか。

教育長 毎日開所は人の配置
もあり難しい。

要保護は0人、準要保護では
小学校で55人、中学校で31人。
認定にあたっては、申請に
基づき審査を行っている。

問 精神的、経済的理
由などで養育が難し
い場合などでも、気にされて
申請をされない場合もある。

変化への気付きについてどのよ
うに対応されているか。
町長 変化は様々なパターン
がある。

基本的には健康福祉課が対
応し、場合によっては教育委員
会、学校、警察など様々である。

小さな問題のときにどのよ
うに対応するかに関して、変
化に気づいた方が、右記の機
関などに連絡いただいたら、
児童相談所も含め、連携しな
がら動いていくという体制は
整っている。

森村地内にも親と子どもの
第三の居場所として、旧古川
邸でフリースペースを運営して
いる。

問 放課後児童クラブ
の時間延長を。

町長 重要なことと認識して
おり来年度には実現したい。

Q 高齢者向け住宅の整備は

A 医療近接型住宅を検討

問 退院後家庭での介
護が困難な方や、家
族が遠方の方などが短期滞在
できる、医療近接型住宅は急
務。

昨年9月、同僚議員への答
弁では『住宅マスタープラン』
の見直しを図る際に福祉にお
ける住まいについても関係各
課で検討を図る」とあったが
その後は。

町長 協議に至っていない。
今後検討していく。

問 高齢者向けの住宅
について、町長の所見
は。

町長 具体的な検討に入って
いるのは医療近接型住宅であ
るが、基本的には財源をどの
ように確保するかである。

つわの暮らし推進課に指示
を出しているのは、PFI(民
間資金活用による社会資本整
備)による建設。

建設課には、町営のアパー
トが老朽化してきているので、
今後、それらの住宅の改修を
行っていく中で、高齢者向け
に整備をしていくように指示
をしている。

また、効率的に福祉施策を
展開する上で、町内の社会福
祉法人や福祉施設の再編に向
けて、コンサルタントを入れて
検討に入っている。

今後の効率的な福祉施策と
合わせて、高齢者向けの住宅
問題の解決に向けていき
たい。

問 空き家の改修によ
り、すぐにも医療
近接型住宅が整備できな
い、と橋井堂の理事長が提案
されている。

町長 いろいろな選択肢を持
ちながら検討したい。





みちのぶ としあき
道信 俊昭 議員

Q 適正な選挙ポスター枚数なのか

A 再度検討

問

今回の津和野町議会議員一般選挙において、ポスターを貼る人達からの声が寄せられた。

例えば、「周囲にほとんど人家がない場所に貼る意味があるだろうか」「脚立を立てなければならぬ場所がある」「○○さん宅前」という、地元民でないと分からない表記「場所が読み取れないような地図」「そもそも法律と条例に適合した枚数なのか」

Q 鷗外の功績を若い世代に

A 引き継ぐ手だてをぜひ検討したい

問

森鷗外没後100周年記念イベントが今年の夏行われるが、その具体的な策を問う。

町長 現在第一段階として、町内にポスター掲示による早期の周知を図っている。

事業の実施は、官民による実行委員会で行う。

イベントの目玉は、鷗外に扮した俳優の榎木孝明さんが町内を人力車でパレードすることである。

また、旅館組合が企画している「鷗外食」を展開し、このイベントを一過性のものにならないようにしたい。

などである。

各陣営の実務者から聞き取り調査をし、検討すべきではないか。

選挙管理委員長 今後、設置場所、表記とも見直しが必要な箇所があれば、改善に向けて検討したい。

掲示場設置数については、現在160カ所であるが、適正であるかどうか委員会内で再度検討する。

問

森鷗外の功績を継続するためには何と

いっても若い世代への継承が重要であるが、実は先日静岡県浜松市からわざわざ鷗外の講座を聞きに来た若い女性があった。

鷗外に対しての造詣が大変深い人である。

こうした人を津和野の若い人と親交を深めてもらう手立てをしてもらいたい。

教育長 私も直接会って見て、議員と同じ感想だった。ぜひ

検討してみたい。

問

鷗外の副読本が記念館に残っているはず

である。津高生に読んでもらいたい。

教育長 50部ぐらいあるので津高に寄贈したい。

問

中高年層にとって は、土日の昼の鷗外講座への出席はむづかしい。

そこで、ユーチューブの構築を提言する。

町長 サンネットは事務組合なので即答はできないが、検討する。

問

津和野町には多くの文化財がある。これまでの文化財は「文化財保護法」でしか議論されなかった。

しかし、2020（令和2）年に「文化観光推進法」ができたが、津和野町に当てはめるとどのようなものになるのか。

教育長 文化財はこれまで「保護」が中心であったが、この法律で、文化財の積極的な観光活用が保証された。

当町においては文化財は観光の基盤となっていることから、これまでも必要に応じて教育委員会から商工観光課や観光協会に情報提供や施設の協力を行ってきたが、より一層の連携を図りたい。



全員協議会

◎みはらし広場工事

概要

大きく3つのエリアを設置する。

駐車スペースとして、普通乗用車14台、大型バス4台、駐輪場一式。

広場エリアは、緑地化し、桜を11本植樹。

みはらしエリアとして、ベンチ4基設置。

国土交通省との協議により、9号線の一時退避所などとして利用したい申し出があり、駐車スペースの舗装とみはらし広場への進入案内看板は国土交通省が行う。

廃屋撤去を昨年秋～2月にかけて行い、広場の設計が終了したのが3月になったため、補正予算となった。

Q 維持管理がかかるのでは。



A なるべく管理費を少なくできるように、建物は検討したが設置をしない方向で考えている。

本広場は9号線通行者が広場から津和野の街並を見ることで、街中へと呼び込む効果を期待している。

必要最小限でその効果を得られるように、できるだけ維持管理費をかけない方法で考えた。

Q トイレは設置しないのか。

A 設置すると維持管理費が非常にかかるため、トイレは設置せず、津和野駅のトイレを案内していく。

◎城下町公園工事

概要

場所は、津和野小学校(以下、津小)前空き地。

バス待合所と公園の整備すること

を目的に令和2年度に用地を取得

津小につながる、



町道堀内北線と県道13号線(萩津和野線)に接する町道は、幅員が非常に狭く、車両の離合が困難であり、児童の歩行が非常に危険。

道路の拡幅も協議したが、町道の拡幅については距離が短く、財源確保が困難であった。

安全の確保の観点から、車が離合でき、歩行できるスペースを確保した設計にした。

この場所は、『津和野百景図』に描かれている「堀内御番所の景」の位置である。

絵図には、堀・土手が描かれており、土手跡に松1本を植栽した築山、張芝を整備し、昔の道をイメージした舗装に整備する。

工事にあたってバス停の待合所を検討。

しかし、交差点から30m以内にバス停設置は困難であったが、バスの待合スペースの設置は求められていたので公園内にあずまやを設置。

令和3年に設計業務を委託。公園の面積は355㎡、工事費は3458万9000円。設計委託業務720万1000円。

待合所利用の児童数は15人。

Q 「城下町公園」という名前は大きすぎないか。

また、バス停を交差点付近に設置する検討を。

A 将来的に検討する。

Q 元々、津小児童のバス待合所が必要という案が、財源があることから4000万円を超え多額な設計・工事費になった。待合所だけなら1000万円以内でできる。

これまで子どもたちが遊べる公園が欲しいという希望があったのだから、これだけの予算をつけるのならきちんとした公園を整備すべきである。

日本遺産があるから城下町公園として整備しなければならぬという発想が寂しい。

維持管理がとんでもない費用になり、町民が見たら「こんなところにそんな予算を計上してしまうのか」という批判につながると思うが。

A もともとこの場所は日本遺産を再現する場所という整備計画を教育委員会が持っていた。そこに待合所の問題が出てきた。

今回は日本遺産の事業と待合所の事業が合体した、というのが経緯。

条例改正

〔5月臨時会〕

〔専決処分〕

◎津和野町税条例等の一部改正について

第18条納税証明書の交付手数料ほか22件の条例改正。

〔専決処分〕

◎津和野町国民健康保険税条例の一部改正

課税額と減税額の改正。

〔6月定例会〕

◎津和野町子育て支援センター設置及び管理運営に関する条例の一部改正について

日原保育園新園舎建設に伴い、日原子育て支援センターの位置を変更するもの。

◎津和野町介護保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少したことによる保険料の減免措置について改正するもの。

◎津和野町特別職の職員の諸給与条例の一部改正について

契約の締結

●小型動力ポンプ付軽積載車の売買契約

(株)クマヒラセキョリティ松江

契約金額

697万4000円

納入期限

令和5年3月31日
納入場所
第3分団津和野町中川地内

●令和3年災町道北斗台線道路災害復旧工事請負契約の締結

(株)日成建設

工事場所 津和野町枕瀬地内

完成 令和4年12月31日

請負金額

5945万7200円

●津和野町庁舎増築棟関連工事請負契約の締結

(株)日成建設

工事場所 津和野町後田地内

完成 令和5年3月31日

請負金額

2億4805万円

特別委員会の設置

議会活性化特別委員会設置に関する決議

提出者

議会運営委員会

議会運営と議員活動の活性化と充実を図り、津和野町の町民参加による協働の町づくりに寄与するため、議会基本条例の制定に向けた協議の場として特別委員会を設置し、同条例の在り方を検討する。

委員長

副委員長

委員構成

調査期限

川田 剛

御手洗 剛

議長を除く全議員

令和5年12月定例会

提出者	議案・賛否表											結果		
	道信	大江	岡田	米澤	横山	沖田	御手洗	三浦	田中	寺戸	川田			
令和4年第4回(5月)津和野町議会臨時会														
町長	【専決処分】津和野町税条例等の一部改正											認	証	
	【専決処分】津和野町国民健康保険税条例の一部改正											認	証	
	令和4年度津和野町一般会計補正予算(第1号)											可	決	
令和4年第5回(6月)津和野町議会定例会														
町長	小型動力ポンプ付軽積載車の取得											可	決	
	令和3年災第2087号町道北斗台線道路災害復旧工事請負契約の締結											可	決	
	津和野町子育て支援センター設置及び管理運営に関する条例の一部改正											可	決	
	// 介護保険条例の一部改正											可	決	
	令和4年度津和野町一般会計補正予算(第2号)											可	決	
	// 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)											可	決	
	// 介護保険特別会計補正予算(第1号)											可	決	
	// 下水道事業特別会計補正予算(第1号)											可	決	
	// 水道事業会計補正予算(第1号)											可	決	
	令和4年度津和野町庁舎増築棟関連工事請負契約の締結											可	決	
委員会	津和野町特別職の職員の諸給与と条例の一部改正											●	可	決
	議会活性化特別委員会の設置に関する決議											可	決	

議員紹介

議員全員に以下の質問に答えていただきました。紙面に限りがありますので
解答の続きはぜひ町でお見かけの際にお尋ねください。

質問 ①趣味 ②好きな有名人 ③生まれ変わるなら何? ④人生最後に食べたいもの ⑤苦手なもの



くさだ きちまる
草田 吉丸
71歳
相撲ヶ原在住
議員歴：9年目

- ① 木工、園芸、剣道、ギター…70歳から始めました
- ② 中村吉右衛門（長谷川平蔵）
- ③ 自由人（世界を旅してみたい）
- ④ いなり寿司と妻の味噌汁
- ⑤ エビとシーチキン



かわだ つよし
川田 剛
40歳
枕瀬在住
議員歴：13年目

- ① サッカーのレフェリー
- ② ダニー・マッケンリー（サッカー審判員）
- ③ カズ（三浦知良）
- ④ チャンポン
- ⑤ レバー



みちのぶ としあき
道信 俊昭
73歳
津和野駅付近在住
議員歴：13年目

- ① 仕事
- ② 吉田拓郎
- ③ 中学3年生
- ④ 腹一杯の空気
- ⑤ ため息



おおえ れい
大江 梨
37歳
畑迫在住
議員歴：1年目

- ① 食べること。薬膳を学ぶ（最近）
- ② 羽生結弦
- ③ 男性
- ④ おにぎりと味噌汁
- ⑤ へび・むかで



おかだ かつや
岡田 克也
56歳
左鎧在住
議員歴：13年目

- ① 飲食（特に津和野の地元食材を使った料理と日本酒）
- ② おしゃかさま
- ③ 自分でいいです
- ④ 子供の頃に母と祖母が作ってくれた煮しめ（2人共に亡くなったので、もう二度と食べられないけれど）
- ⑤ マムシとムカデ



よねざわ ひろみ
米澤 宏文
77歳
鷺原在住
議員歴：13年目

- ① イルミネーション装飾
- ② 吉川英治（小説家）
- ③ 戦国時代に生まれたたい
- ④ 柿
- ⑤ 納豆



よこやま もとし
横山 元志
48歳
町田在住
議員歴：1年目

- ① 剣道・バイク・スノーボード
- ② 織田信長
- ③ 自分（生まれ変わってやり直したい）
- ④ 白ごはん 梅干し
- ⑤ 納豆



おきた まさむる
沖田 守
81歳
野口在住
議員歴：21年

- ① 時代劇鑑賞 池波正太郎の代表作 鬼の平蔵こと「鬼平犯科帳」
- ② 大庭政世（津和野町青原出身）
- ③ 再び地方政治家を青年期から目指したい
- ④ 虎屋の羊羹
- ⑤ 音楽（歌う事）



みたらい つよし
御手洗 剛
71歳
木部在住
議員歴：9年目

- ① 旅行・ゴルフ
- ② 現役時代の読売ジャイアンツ「長嶋茂雄」
- ③ 考えた事がない
- ④ 愛妻の手料理（しいていえば白飯に味噌汁）
- ⑤ 昔は速かった「走ること」



みaura えいじ
三浦 英治
64歳
青原在住
議員歴：13年目

- ① ほろ酔い状態
- ② 誰が有名人なのか解らない
- ③ 人間
- ④ 煙草を吸いたい（最後の晩餐は、想像できない）
- ⑤ 人間



てらと まさこ
寺戸 昌子
60歳
青原在住
議員歴：9年目

- ① 3B体操
- ② 松田聖子
- ③ アイドル
- ④ 白いご飯 + ふりかけ
- ⑤ 夜ふかし



たなかうみたらう
田中海太郎
47歳
木部在住
議員歴：1年目

- ① 鉄道、ギター、読書
- ② チェ・ゲバラと寅さん
- ③ アメリカ南部のブルースシンガー
- ④ 雑草
- ⑤ 流行り物